

01-12  
整理番号 AP 506549

M15256

発送番号 548972

発送日 平成13年11月13日 1 / 2

## 拒絶理由通知書

特許出願の番号	平成 9 年 特許願 第 2 6 6 7 8 5 号
起案日	平成 1 3 年 1 1 月 9 日
特許庁審査官	下原 浩嗣 9 1 7 9 3 V 0 0
特許出願人代理人	曾我 道照 (外 5 名) 様
適用条文	第 2 9 条第 2 項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から 6 0 日以内に意見書を提出して下さい。

### 理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記 of 刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第 2 9 条第 2 項の規定により特許を受けることができない。

### 記

#### 【請求項 1 乃至 8 について】

引用文献 1, 2

(特に請求項 1, 2 および 7 について)

上記文献 1 には、刷子ホルダをモールド作成するにあたって、接続板を打抜いて作った際にプリモールドで各々固定し、その後モールドすることが記載されている。

(特に請求項 8 について)

上記文献 1 に記載のものは端子 2 6, 2 7 をモールド固定するものであり、これをコネクタ端子とすることは、当業者が容易に想到し得る。

(特に請求項 6 について)

上記文献 2 には、リードフレームの複数の配線パターンを部分的に固定する第 1 樹脂部を熱硬化性樹脂材により成形し、第 1 樹脂部以外を被覆する第 2 樹脂部をポリフィニレンサルファイド等の熱可塑性樹脂材により成形することが記載されている。一般的に、一次成形に高温に耐える材料を用い、二次成形は低温の材料とすることは当業者にとっては通常の技術常識であるの認められる。

なお、本願請求項 6 には一次成形による変形防止体として熱可塑性樹脂材であるポリフェニレンサルファイド樹脂を用いることが記載されているが、二次成形時に該変形防止体に変形しない論理構成は記載されていない。

発送番号 548972

発送日 平成13年11月13日 2 / 2

【引用文献等一覧】

1. 特開平 5-153751号公報
2. 特開平 4- 64414号公報

拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

審査官連絡先 tel 03(3581)1101 内線3358 fax 03(3501)0671

-----

先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野 IPC第7版 H02K 5/14

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。